

博物館実習

当館は、静岡県内で唯一の県立の博物館施設であることから、開館当初より博物館実習の場と機会を提供してきた。毎年多くの希望者があるが、受入には

- 1：県内出身者または県内の大学に通学していること
- 2：美学美術史学、美術教育または美術製作専攻であること
- 3：大学の推薦を受けた者であること

を条件としている。本年は12大学から18人の学生を実習生として受け入れた。

当館の博物館実習は、単に資格取得を目指す学生のために、実習の機会を提供する、というだけではない。むしろ、社会の中での美術館機能を把握し、社会の一員として将来の美術館を担う人間の育成に資することを目指している。

カリキュラムは、見学・講義・実習からなり、それぞれを当館の総務課職員・学芸員が担当する。本年は「美術館の役割を考える 文化財の保存・公開」というテーマを設定し、カリキュラム全体をこのテーマに関連させた。多岐に亘る美術館業務への理解を図るために、敢えて観点を定め、ここから様々な問題との関わりを学習することを目指した。

カリキュラムの内容

見学

施設見学

全館の空調制御・監視システム・防犯防火システムなど当館施設の見学
夏休み子供ワークショップ見学

講義

当館の活動の概要

美術館の活動と学芸員の役割の把握・作品収集のテーマとその方法
美術館の「これまで」と「これから」

現在、様々な形で過渡期にある美術館の現状を、ブレインストーミングを用いて考える。

作品の保全について / IPMの試み

美術館で行なわれている、作品保全環境を概観する。加えて、保全の試みが今後どのように展開されていくのかを考える。

美術館評価の試み

美術館は、様々な機能を持ち、来館者数のみでその実績を評価することは出来ない。では適切な評価とは何であるのか、現在美術館で行なわれている取

り組みを概説する。

行政から見た静岡県立美術館の現状

国立の美術館・博物館が法人化されたことを受け、県立美術館も同様に法人化されることが予想される。その場合、美術館には何が要求されることになるのかを、学芸員ではなく、行政の視点から概説する。観覧者との双方向性「今こ展」「ザ・ベスト展」

展示会を構成するに当たって、観覧者からの働きかけを取り込む試みについて概説する。

コレクションの形成と企画展

美術館のコレクションは、どのような方針に沿って収集されるのか、また、それらを活用した収蔵品展と、独立した企画展とは、どのように係わっているのか等を概観する。

実習

美術品の調査・記録・取り扱い

実際に作品を手にとって、調査法や記録法、取り扱いを実習する。

収蔵庫内実習

収蔵庫内を見学し、作品の保全環境について学ぶ。

環境モニタリング実習

美術館内外の環境を実地に調査する。その結果を考察・発表し、可能な環境改善策を実行する。

実習期間、カリキュラム

7月29日(月)

10:00~10:30 ガイダンス
10:40~12:00 講義 : 当館活動の概要

昼食

13:00~14:30 講義 : 美術館の「これまで」と「これから」

14:40~15:30 見学: 施設見学

15:40~16:00 実習ノート整理

7月30日(火)

10:00~10:50 講義 : 作品の保全について / IPMの試み

11:00~11:50 講義 : 美術館評価の試み

昼食

13:00~13:50 講義 : 行政から見た静岡県立美術館の現状

14:00~15:30 実習: 油彩画の取り扱い

15:40~16:00 実習ノート整理

7月31日(水)

10:00~10:50 講義 : 観覧者との双方向性
「今ここ展」「ザ・ベスト
展」

11:00~11:50 実習: 日本画の取り扱い1

昼食

13:00~13:50 実習: 日本画の取り扱い2

14:00~15:30 実習: 版画の取り扱い

15:40~16:00 実習ノート整理

8月1日(木)

10:00~10:50 講義 : コレクションの形成と企
画展

11:00~12:00 収蔵庫見学

昼食

13:00~13:50 収蔵庫見学・収蔵庫内実習

14:00~16:00 実習: 環境モニタリング実習1

16:10~16:30 実習ノート整理

8月2日(金)

10:00~10:50 続実習: 環境モニタリング実習2

11:00~11:50 続実習: 環境モニタリング実習3

昼食

13:00~13:50 続実習: 環境モニタリング実習4

14:00~16:00 続実習: 環境モニタリング実習5

16:10~16:30 実習ノート整理

8月3日(土)

A M 夏休み子供ワークショップ見学

実習ノート整理